

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】韮崎市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
24	2008.3.31			山梨県	韮崎市	33,603	143.73
構想の要約		「武田の里」として知られる本市では、廃食用油の飼料化等や、市内の小中学校等に設置された生ごみ処理機による堆肥化等により、環境保全型農業の推進等が図られてきた。今後、生ごみの堆肥化の取組を一般家庭や事業者等に広めるとともに、木質系バイオマスの利活用向上や、BDF化事業等についても検討していく。					
構想に盛り込まれた事業		①食品残渣の堆肥化(事業系)②食品残渣の堆肥化(家庭系)③家畜排泄物堆肥化④木質系の活用⑤廃食用油の活用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス			資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物		
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部				
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○			
廃食用油	○	果樹剪定枝	○			
水産加工残さ		竹材				
製材工場等残材		その他()				
建設発生木材	○					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○					
古紙・廃棄紙						
下水汚泥など						
その他()						

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(工業用脂肪酸)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマス利活用交付金等 利用状況	
----------------------	--

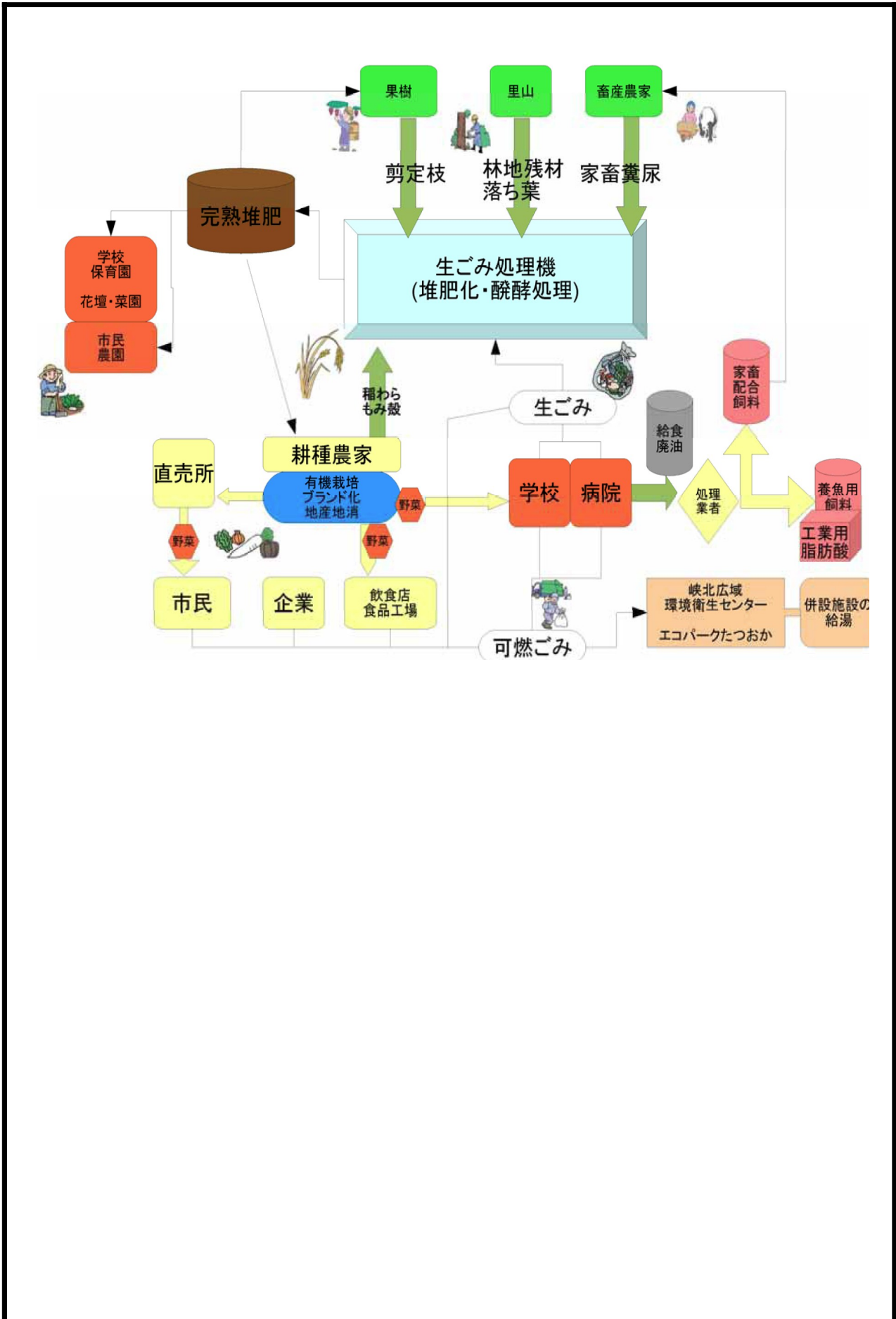
バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量		現在の利活用				将来の目標量					
	湿潤	炭素 換算	湿潤	炭素 換算	変換・ 処理方法	利用率	湿潤	炭素 換算	変換・ 処理方法	利用・販売	利用率	
(廃棄物系バイオマス)	22,262.4	1,488.8	18,717	1,229.2		82.6%	21,909.2	1,458.8			98%	
家畜排泄物	18,407	1,098	18,407	1,098	堆肥化	100%	18,407	1,098	堆肥化	農地還元 利用・販売	100%	
食品 残渣	一般家庭	3,327	147	0	0	焼却	未利用	2,994.3	132	堆肥化	農地還元 利用・販売	90%
	小中学校	17.4	0.8	17.4	0.8	堆肥化処理	100%	17.4	0.8	堆肥化	農地還元 利用・販売	100%
廃食用油	137	98	7.6	5.4	焼却 家畜・養魚飼料 工業用脂肪酸	5.5%	116.5	83	家畜・養魚飼料 工業用脂肪酸	畜産利用 販売	85%	
建設発生木材	285	125	285	125	チップ化等	100%	285	125	チップ化 ペレット化 堆肥化	販売	100%	
都市公園剪定枝	89	20	0	0	焼却	未利用	89	20	チップ化 ペレット化 堆肥化	販売	100%	
(未利用バイオマス)	8,546	2,348	3,520.5	970.2		41.3%	5,051.5	1,364			58.1%	
稲わら	5,659	1,620	2,264	648	堆肥化 家畜飼料 敷きわら	40%	2,829.5	810	堆肥化副資材 家畜飼料 敷きわら	農地還元 畜産利用 販売	50%	
もみ殻	1,344	385	672	192	堆肥化等	50%	940.8	269	堆肥化副資材	農地還元	70%	
林地残材	374	83	0	0	林地内自然腐食	未利用	112.2	25	チップ化 ペレット化 堆肥化	販売	30%	
果樹剪定枝	1,169	260	584.5	130.2	チップ化・焼却	50%	1,169	260	チップ化 ペレット化 堆肥化	販売	100%	

バイオスタウン構想概要図
 (バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)